

かつしかごみ減量リサイクル推進協議会 第3回区民啓発活動部会結果

(開催日：平成24年7月6日)

第3回区民啓発活動部会では、平成23年度の「ごみ減量月間」で実施したマイバッグ利用に関するアンケートの集計結果について報告しました。また、平成24年度の取り組みとして、「ごみ減量月間の実施」、「かつしかルール」、「ごみ減量の日」についての検討を行ないました。

そして、今回の検討結果については7月20日に開催される推進協議会で提案していくことが確認されました。

1. 新規委員の加入について

昨年来、かつしかルールの中で雑紙の分別に取り組んでいるが、今後さらに認知度を高めていくためには、新たなアプローチが必要である。

ごみ減量の啓発を行うには子どもへの啓発も重要であるという意見も多く、また、ごみ減量の実践者を広げるためにも子どもを取り巻く環境にも啓発の行動を強化していくことが大切であると指摘されている。

そこで、小学校・中学校のPTA連合会にリサイクル推進協議会に参加していただくことによって、子ども及びその保護者にもごみ減量やリサイクルの意識を高めていただくという意図で参加協力をお願いすることとした。

新たな団体の加入に際しては「かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会部会設置規約」の改正が必要となる。

今後かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会の手承を経て規約を改正、PTA連合会を正式な加入団体としてお迎えすることとしたい。

2. 「ごみ減量の日」の推進について

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、平成18年11月5日から毎月5日を「ごみ減量の日」として区民、事業者それぞれの取り組むべき目標を提示し、呼びかけることにより、ごみの減量に対する活動の全区的な広がりを図っている。

そこで、今年度の具体的PR方法や今年度の後半分である平成24年10月以降の取組内容について検討する。

(1) 実施内容

概ね半年ごとを目安として区民向け、事業者向けのそれぞれの重点活動内容を定め、広報紙をはじめ、回覧板やチラシ等で広くPRしていく。

例年10月はマイバッグの利用を呼びかけているところであるが、今年度は紙ごみの減量を推進協議会の重点的な取組項目としているため、今年度の前半の取組内容に引き続き紙ごみ減量を促す内容とする。

(2) PR展開

① 区民向けPR

自治町会連合会作成の回覧板（年2回作成）にて区民向け取組のPRを行う。

② ごみ減量キャンペーンでのPRについて

10月の「ごみ減量の日」前後に行うごみ減量キャンペーンについては、会場にてパネルの展示などを行い、「ごみ減量の日」のPRも併せて実施していく。

③ その他

「ごみ減量の日」を広く普及する目的で、広報かつしかやホームページ、かつしかエフエム等を利用したPRを行う。また、毎月1日から5日までは区役所入口など3箇所へのぼり旗を掲げ、来庁者にPR活動を行う。

また、昨年6月に開設した「かつしかエコライフプラザ」でも各種PRしていく。

(3) 呼びかけをする取組内容

① 現在（平成24年4月から9月まで）の取り組み内容

・区民の皆さんは…雑紙（ざつがみ）を日頃から集められる環境をつくりましょう。

② 平成24年10月から平成25年3月までの取り組み内容（案）

【A案】かつしかルールである雑紙の分別促進を訴える内容

（区民の皆さんは）雑紙（ざつがみ）の排出抑制を心掛けましょう。

普段の生活の中からは包装紙やちらしといった様々な雑紙（ざつがみ）が発生しています。

雑紙は、新聞紙や牛乳パック同様資源としてリサイクルすることができる紙類ですが、必要以上の雑紙の排出を抑制することで、資源全体の総排出量削減につながります。

不要な包装は断る、いらぬパンフレットやちらしを受け取らないなど、雑紙の排出抑制を心掛けましょう。

【B案】10月のごみ減量月間に連動した取り組み内容とする。

(区民の皆さんは) マイバッグを常に持ち歩きましょう。

お買い物のときにマイバッグを持ってくるのを忘れてついレジ袋をもらってしまうようなことはないでしょうか。お買い物に行こうとするときはマイバッグを持っていきますが、通勤の帰りや出かけたついでにお買い物をしようとするときマイバッグを持っていないことが多いと思います。いつも折りたためるマイバッグを持ち歩く癖を付けて、急な買い物の際にもマイバッグが使えるように心掛けましょう。

3. ごみ減量月間の取組について

(1) 平成24年度「ごみ減量月間」の取組内容について

10月をごみ減量月間と位置づけ、街頭キャンペーンを中心に展開する他、イベントに参加するなど、ごみ減量やリサイクルの推進を呼びかけていくものとする。

また、昨年度制定された「葛飾区一般廃棄物処理基本計画（第3次）」に、区民みんなが実践していく取組として位置づけられている「かつしかルール」を意識したキャンペーンやイベントを今年度も継続して行う。

① 街頭キャンペーンの実施内容について

区民が身近にごみの発生抑制に取り組むことができる、買物時のマイバッグ持参キャンペーンを実施し、啓発も同時に行うことで区民のごみの減量に対する意識の醸成を促す。また、アンケートも実施することで、区民のごみ減量意識を把握し、今後の推進協議会の活動の参考とする。

実施場所については、昨年度の実施地区を中心に会場の提供を依頼する。大型スーパーに関しては新たに実施したい店舗の希望を募り、希望が多数ある場合は持ち回りなどによる実施を検討することとする。

＜参考＞平成23年度街頭キャンペーン開催場所等		
地区	日時	会場
柴又	9月15日（木）正午～	柴又帝釈天二天門前 （柴又中央会・柴又親商会・柴又神明会）
高砂	9月30日（金）午後6時30分～	高砂駅南口出口前 （高砂商店会・高砂エビス通り商店会・高砂南町商友会）
金町	10月1日（土）午後5時30分～	金町末広商店会
四つ木	10月2日（日）午後1時30分～	まいろーど四つ木商店街
金町	10月2日（土）午後3時～	金町とうきゅう
亀有	10月7日（金）午後4時～	イトーヨーカ堂亀有駅前店
新小岩	10月8日（土）午後3時～	みのり商店会
堀切	10月21日（金）午後4時～	堀切菖蒲園駅前 （堀切商店街堀切21）
鎌倉	10月22日（土）雨天中止 ※	千代田通商店会
亀有	10月22日（土）午後2時～	かめありリリオパーク （亀有地区町会自治会連合会・亀有地区商店街協議会）
お花茶屋	10月22日（土）午後3時～	お花茶屋商店街
新小岩	10月23日（日）午後4時～	西友新小岩店
立石	10月28日（金）午後3時～	立石仲見世共盛会
金町	10月29日（土）午後4時～	金町しょうぶ通り商店会

※千代田通商店会は実施予定だった10月22日が雨天中止となったため、後日自主活動として配布を行ったもの。

昨年度は2商店街において、お買い物でのレジ袋辞退者にポイントを貯めてもらい、景品と交換できる取組を実施したが、今年度は1商店街増やし3商店街で実施するものとする。

② 産業フェアへの参加について

10月19日(金)から21日(日)に行われる産業フェアに参加し、ゲーム形式など体験型のイベントの実施やパネル展示等により、ごみの減量やリサイクルの推進について意識啓発・行動促進を図る。

また、子どもの参加が多いため、家庭で実践を促すなど教育的効果も考慮してイベントを実施していくものとする。

③ ごみ減量・清掃フェアへの参加について

10月28日(日)に葛飾清掃工場で行われる予定の「ごみ減量・清掃フェア」に参加し、ブースにおいてごみ減量キャンペーンを実施する。同時にごみの分別などの啓発を行うことで、ごみの減量やリサイクルの推進について意識啓発・行動促進を図る。

④ ごみ減量月間における各団体への協力依頼

各団体へは、キャンペーンにおける人員等の協力及び事前PR等の協力を依頼する。

- ・当日の人員等協力
- ・キャンペーン会場の提供
- ・ポスターの掲示
- ・店内、街頭放送等
- ・事前及びキャンペーン当日の放送等によるPR

⑤ キャンペーン協賛物品の提供依頼

- ・物品の提供については、推進協議会参加団体及び企業に呼びかける。
- ・提供を受けた区民団体や企業については、キャンペーンで配布するPR用チラシにより、ごみ減量に関する取組を中心にした内容で団体・企業のPRをしていく。

平成23年度物品提供をいただいた内容

団体・事業者	提供物品	配布先
かつしか異業種交流会	マイバック	産業フェア参加者
株式会社タカラトミー	おもちゃ	産業フェア参加者
森永乳業株式会社	パック飲料	街頭キャンペーン参加者(みのり商店会)
ミヨシ油脂株式会社	ノート	産業フェア参加者
レンゴー株式会社	水切りごみ袋	産業フェア参加者

⑥ りー（Ree）ちゃんバッジの作成

スーパーなどのレジ袋削減を図るため、「レジ袋はいりません」と表示されたりー（Ree）ちゃんバッジを作成した。

スーパーマーケットなどのレジカウンターでは、なかなか声に出してレジ袋を断ったり、スーパー側で用意しているレジ袋お断りカードを提示しづらいという消費者の声も多い。

そこで、バッジを作成し、買物の際に胸やエコバックに付けたバッジを見せるだけでレジ袋の辞退の意思表示ができるように、区内のスーパーマーケットや商店とも連携を図って、さらなるレジ袋の削減を目指す。

スーパーなどのレジ袋を削減するため、葛飾区は、区のごみ減量推進キャラクターで「レジ袋はいりません！」とアピールしている「Ree（りー）ちゃん」バッジ五千個を制作した。かつしかエコライフプラザ（立石）オープン一周年記念イベントが三十日にあり、来場した子どもに配布する。葛飾区は十年前からレジ袋削減に取り組んでお

Reeちゃんがいりません！

レジ袋削減で バッジ配布へ

葛飾区

レジ袋がいらないことを意思表示する「Reeちゃんバッジ」―葛飾区提供

り、毎年四千枚のオリジナルマイバッグを商店会などで配っている。区によると、10%未満だったレジ袋の辞退率がこの数年は25～30%に増えた。それでも、焼却されるレジ袋は年八百六十トに上ると区は推計する。バッジは直径五センチの柔らかいビニール製、子どもが胸やエコバックに付けたテーブルなど家具約二百点を先着順に無料で提示してもらう。区内の商店にポスターを張ってもらうなどして周知を図る。区リサイクル清掃課は「レジ袋はいらないと意識してもらい、買い物にエコバッグを忘れない効果も期待している」と話す。

エコライフプラザのイベントは午前十時～午後四時。子どもが持ち寄ったおもちゃに自分でポイントを付け、同じポイント同士で交換する「かえっこバザール」や、粗大ごみで収集され、修理したテーブルなど家具約二百点を先着順に無料で提示する。（村松権主磨）

4. 「かつしかルール」について

(1) 平成24年度の取組について

平成24年度においては平成23年度に引き続き「雑紙（ざつがみ）を徹底して分別し、資源にする」として啓発及び取組を行っている。

＜平成24年度の個別ルール＞

『雑紙（ざつがみ）を徹底して分別し、資源にする』

① 具体的な取組

(ア) 広報紙での周知（年2回）

広報紙において、雑紙の分別や排出の仕方、雑紙たまって箱（雑紙保管箱）の利用などを引き続き周知するとともに、紙類のリサイクルの行方を紹介することによって、どの様な点に気をつければリサイクルしやすくなるかを周知する。また、事業者による雑紙の資源化もPRしていく。



(イ) 町会回覧での周知（年2回）

自治町会連合会の町会回覧向けに、雑紙の出し方分け方を中心とした内容のちらし回覧を行なう。

(ウ) 小売店・事業所などでの周知（年2回）

葛飾区商店街連合会、東京商工会議所葛飾支部で啓発ちらしを会員事業所に配布してもらう。この中で、区内事業者には雑紙の資源化促進をPRしていく。

(エ) ごみ減量キャンペーンでの周知

ごみ減量キャンペーンでアンケートに雑紙に対する意識調査を継続するほか、雑紙に関するちらしや雑紙保管箱（雑紙たまって箱）を配布、雑紙の資源化促進の展示などを行なう。

(オ) イベントでの周知

10月に実施される産業フェア、ごみ減量・清掃フェア等の各種イベントにおいて、「雑紙」に関する展示やゲームを行い、周知する。

(カ) 区のホームページでの周知

葛飾区のホームページの「かつしかルール」のページで雑紙に関する各種情報を提供する。特に、事業者向けの情報（シュレッダーの資源化や雑紙回収促進の例など）を充実させていく。

(キ) 各事業者による雑紙の資源化促進

推進協議会に参加する各事業者の自主的な活動により、自らの事業の中で雑紙の資源化に取り組むと共に、区民へも雑紙の資源化をPRするように努める。

② 目標値の設定

(ア) 「かつしかルール」全体の目標値

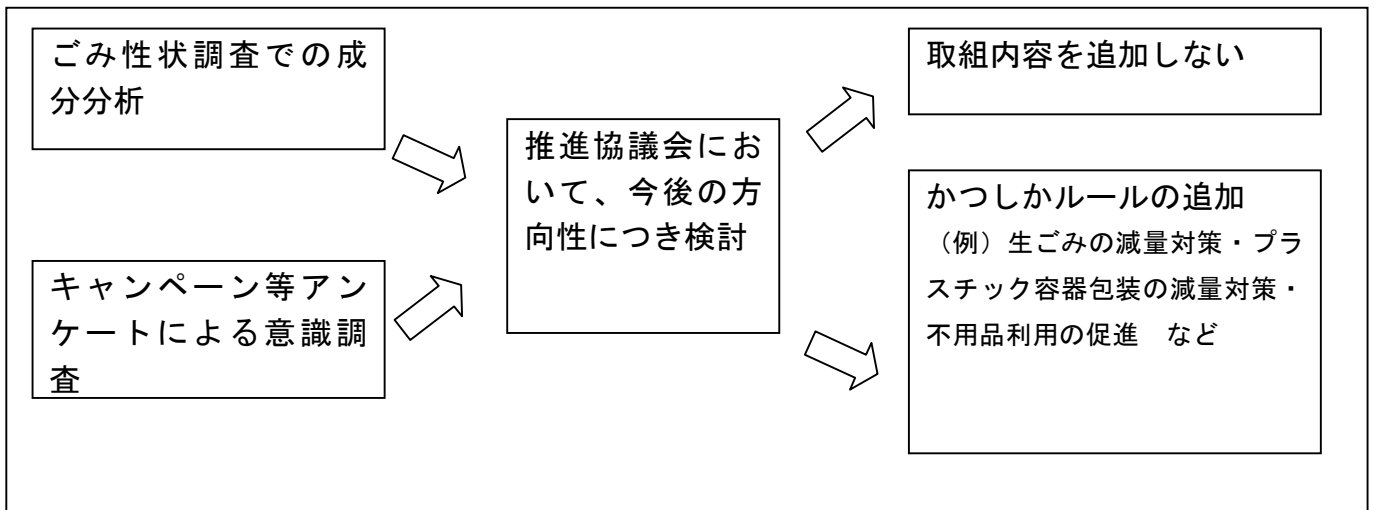
- ・家庭の燃やすごみの年2%の減量、10年で20%の減量
- ・ルールの認識・実践をしている区民を80%以上とする

(イ) 『雑紙（ざつがみ）を徹底して分別し、資源にする』の目標値

- ・キャンペーン等アンケートで雑紙の分別を実施している割合が80%以上
- ・燃やすごみから出るリサイクル可能な紙類を、5%以下（平成21年度を基準とし2%減を5年）

(2) 平成25年度の取組について

雑紙の分別徹底については、平成23・24年度と2年取り組んでいる。そこで、性状調査・意識調査により取組に対する成果の実証確認を行う。結果が良好であった場合、かつしかルールの追加を検討していきたい。



【参考】

かつしかルールとは

「ごみの量を減らし、
資源を良質なリサイクルにつなげるために、
みんなで行う取組」

- ① 容易に実践でき
- ② 多くの人に取り組むことができ
- ③ ごみ減量やリサイクルに貢献する誇りを持って取り組めるもの

※「かつしかルール」の取組に関する協議会の役割

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会

「かつしかルール」の具体的なルール内容の決定、啓発手法など取組の決定

区民啓発活動部会

区民に対する啓発内容の検討、啓発イベントの実施、ごみ減量につながる情報提供、ごみ減量のための取組の提案など

事業者活動部会

事業者への啓発事項の検討、事業の中でごみ減量を行う目標値の設定、新たな取組を行うための仕組みづくりなど

5. 「かつしかごみ減量アイデア広場」について（案）

（1）趣旨・目的

各家庭や職場、学校などにおいて日頃より取り組んでいることで、「容易に実践でき」、「多くの人に取り組むことができ」、「ごみ減量やリサイクルに貢献する誇りを持って取り組める」アイデアを募集し、様々な媒体で紹介していくことで、区民のごみ減量に対する意識を高め、最終処分場の延命化につなげていく。

（2）周知方法

広報かつしか、区ホームページに掲載するほか、リサイクル清掃課、かつしかエコライフプラザ窓口にてちらしを配布する。

（3）募集方法

郵送・FAX・持参（リサイクル清掃課、エコライフプラザ）

（4）アイデアの公表

区ホームページやエコライフ通信への掲載、またかつしかエコライフプラザへの掲示など、多くの区民に周知を行いごみ減量に取り組んでもらう。